

赤潮プランクトン情報（第 19 報）

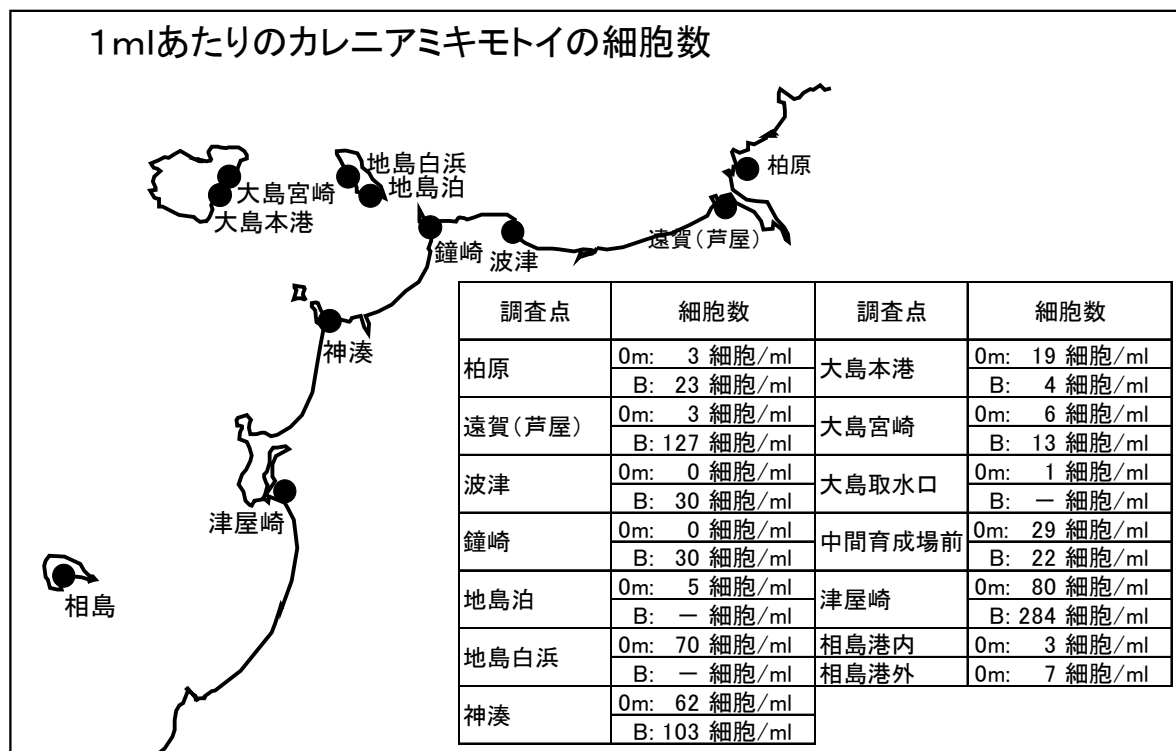
福岡県水産海洋技術センター

平成 27 年 7 月 29 日

平成 27 年 7 月 28、29 日に県内の漁港及び漁場の海水を調査したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）が広範囲で発生し、蓄養中のアワビやサザエ、魚類及びタコのへい死が確認されています。

カレニア ミキモトイは表層で着色が見られなくても中・底層でも高密度に増殖する可能性があります。引き続き、県内の全ての漁場や漁港内でカレニア ミキモトイが急激に増殖している状況にあります。魚類や貝類は蓄養せずに出荷するなど十分に注意して下さい。

*カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、特にアワビ、サザエは数 10 細胞/ml でもへい死することもあります。魚類は 100 細胞を超えると注意が必要で、500 細胞/ml を越えるとへい死することもあります。



漁場でアワビが弱ったり、海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。また被害状況は随時、情報を収集しますので組合で集約しておいてください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
研究部 資源環境課 秋本・恵崎・杉野・里道・片山
092-806-0884